

内科学系神経内科学分野

A 神経内科後期研修医・大学院生の募集（2023年度）

新臨床研修制度の初期研修2年間をすでに終了し、2023年4月から3年目、4年目、5年目医師となる先生方（新内科専門医制度専攻医）、さらに6年目以降医師の先生方を対象として、2023年度4月採用の内科学系神経内科学分野の専修医および大学院生を募集します。

後期研修医については、

① 3年目、4年目、5年目の医師（新内科専門医制度専攻医）：

初期臨床研修後の3年間を、[1] 神経内科学分野に入局する、[2] 分野に入局しないで内科学系に所属する、のいずれかを選択したうえで内科専攻医の研修を行います。

専攻医研修期間中の大学院への入学希望者は担当教員と相談の上、進学時期を決定します。

② 6年目以降の医師（専修医）：

当初から神経内科学分野に所属する専修医として研修、あるいは大学院のコースに入ります。大学院については、当分野では従来の大学院と社会人大学院コース（専修医と平行）が設立されています。

大学院願書の請求

〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町30-1

日本大学医学部教務課 TEL：03-3972-8111、(内) 2121

詳細（願書提出期限、試験日など）は、教務課にお問い合わせ下さい。

B 入局を考えている皆様へ - 日本大学神経内科の医局運営と指導体制 -

中嶋 秀人

神経内科領域はCommon Diseaseである脳卒中、認知症、てんかんから神経難病までと多様で、また、脳血管障害に迅速に対応する急性期から、認知症や難病などじっくり取り組む慢性期までカバーしています。多様な神経内科疾患を診るオールラウンドプレイヤーがおれば、一部疾患に的を絞ったスペシャリストがいるのも神経内科であり、活躍の場も大学病院から訪問診療クリニックなどの地域医療まで広範にわたります。また急変が少なく、ワークライフバランスを保ちやすいのも大きな特徴です。そのような神経内科の魅力を伝えながら専門医育成に力を入れています。

① コミュニケーション

Communication（コミュニケーション）、Challenge（挑戦）、Co-creation（共創）を教室のモットーに教室員一同で協力しあって、地域医療への貢献、若手医師の育成、

教室研究の発展に邁進するよう心がけています。教室員全てが大切な仲間であり、指導だけでなく悩み事や相談などにも全員でサポートする医局運営を行っています。

◎具体的な対応

➤ 家庭における問題や精神的な困難に対する配慮

我々の勤務は、精神的なストレスやプレッシャーも多いのが事実です。従って、家庭やプライベートな基盤が安定して、初めて研修や研究が可能になると考えます。

私的なこと、業務上のことを問わず、悩みごとがあれば気楽に相談して下さい。

➤ 女性の医師に対する配慮

結婚や産前・産後の休暇、育児休暇、育児後の医局への復帰も個人の事情を配慮して行います。

②診療

診療レベルの向上は、臨床の医局にとって生命線と考えます。つまり、きちんと患者を診ることが第一で、次いで研究と教育があります。従って、回診は私自ら行い、主治医と一緒に患者の診断・治療方針の決定に携わっています。その中で、皆さんがきちんとした診療手技ができること、正確な診断の思考展開ができることを私も含め医局員全員でバックアップします。

③研究

神経内科には、神経感染症、神経免疫、パーキンソン病、電気生理、神経病理、神経心理などをそれぞれ得意とするエキスパートが多くいます。苦労しながら研究で得られた知見を日々の診療に役立て、その情報を世界に発信することはとてもやりがいのあることです。

症例研究や基礎研究を含め、学位論文の作成や研究指導は全力でサポートします。研究は適切な監督下で行い、得られたその成果を基盤に、次の神経内科を担っていく世代を育てていく体制の構築が最も重要と考えます。

④大学院について

10月に大学院の申し込みが始まります。大学院を希望する研修医2年生や3年生には希望に添えるように体制を考えますので、遠慮なく相談して下さい。

⑤専門医について

神経内科専門医の取得は医師のキャリア形成に欠かせません。将来、大学病院でサブスペシャリティーを究めるか、研究に打込むか、または地域医療に貢献するか、いずれの道に進むにしても専門医取得はその通過点になります。資格取得に向けて丁寧な指導を行うとともに、専門医になるための知識や技術の習得と経験を積むことができるようなプログラムを提供しています。

C 取得できる専門医等の資格

日本内科学会内科専門医
 日本神経学会神経内科専門医
 日本脳卒中学会専門医
 日本認知症学会専門医
 日本臨床神経生理学会専門医
 など

D 関連病院・施設

小張総合病院 吉橋廣一	千葉県野田市横内 29-1
東京都立豊島病院 津田浩昌	東京都板橋区栄町 33-1
独立行政法人国立病院機構埼玉病院 石川晴美	埼玉県和光市諏訪 2-1
春日部市立病院 山岡健治	埼玉県春日部市中央 7-2-1
川口市立医療センター 塩田宏嗣	埼玉県川口市西新井宿 180
長岡西病院 三木健司	新潟県長岡市三ツ郷屋町 371-1
赤羽中央総合病院	東京都北区赤羽南 2-5-12
笠幡病院	埼玉県川越市笠幡 4955-1
要町病院	東京都豊島区要町 1-11-13
塩味病院	埼玉県朝霞市溝沼 2-4-1
狭山神経内科病院	埼玉県狭山市加佐志 65
世田谷神経内科病院	東京都世田谷区等々力 6-37-12
上尾中央総合病院 亀井 聡	埼玉県上尾市柏座 1-10-10

問い合わせ先

後期研修・入局などの問い合わせ先

〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1

TEL：03-3972-8111（内線 2602） FAX：03-3972-3059

内科学系神経内科学分野 医局長 石原 正樹

ホームページ：http://www.med.nihon-u.ac.jp/department/neuro/

E-mail：med.neurology@nihon-u.ac.jp